

- ～受検お申込前に下記の内容をご了承の上、別室での受験に該当する方は、「障がい者等配慮措置申請書」を提出してください。
- ～受検上の配慮事項の準備には数か月かかりますので、指定された期間内に配慮申請フォームまたは上記書面にて申請をお願いいたします。
- ～申請書を確認後、協会よりご連絡いたします。申請後の詳細な流れについては、「障がい者等受験配慮措置申請書」をご参照ください。
- ～申請確認・承認後、試験のお申し込みはオンライン申込が可能です。申込手順は担当者よりメールまたはお電話にてご案内いたします。

協会では、次のような場合、事前に申請を頂くことで、受検が可能になるよう受験教室内の配慮を講じています。

- ①可能な限り状況に合わせて配慮いたしますが、潤滑な試験運営と安全面を考慮した結果、試験会場によりご対応できない場合がございます。
- ②別室を設けての配慮措置による試験実施級は準2級～5級です。
- ③下肢機能障がい者は車イス使用にて一般受験者と同様とし一般教室での受験とします。※一般教室での受験に該当する方は、申請書の提出は不要（車での来場を希望する場合を除く）。お申込時、ユーザー内の特記事項から【車イス】を選択。願書の場合、注意メモ欄に必要事項（車イス使用）等ご記入ください。
- ④別室受験希望の場合、いずれも公的書類の提出が必要です。別途、医師や専門家の診断書の提示をお願いすることがあります。

1. 聴覚障がい者の試験（聞きとり試験）

難聴の程度	解答方法	検定級	試験時間	受験教室	事前の配慮申請	添付書類	受検申込
4級以上（両耳80db以上）	筆記形式	5級～準2級	一般と同じ	指定の別室	必要	障がい者手帳の写 真又は複写	申請受理後 受付期 間内
5～6級 （両耳70db以上または片 側耳90db以上・他側耳50 db以上）	筆記形式 （*1）	5級～準2級	一般と同じ	指定の別室	必要	障がい者手帳の写 真又は複写	申請受理後 受付期 間内
	通常通り	全級	一般と同じ	一般教室で席 の配慮	不要	マイページ登録・願 書に難聴明記	受付期間内
その他 度難聴 中軽 （69db以下）	通常通り	全級	一般と同じ	一般教室で席 の配慮	不要	マイページ登録・願 書に難聴明記	受付期間内

●解答はすべてマークシート方式です。

（*1）聞きとり試験が困難と判断された場合に限りです。別途医師の診断書の提示をお願いすることがあります。

●別室での受験方法

聞きとり試験：監督提示の書面にて説明文を読み、確認の上、筆記形式に変更した問題で受験します。

筆記試験：聞きとり試験時間30分終了後、監督の指示を待って開始します。

2. 上肢・下肢機能障害者の試験（筆記・聞きとり試験）

対象者	解答方法	検定級	試験時間	試験室	申請書の提出	添付書類	願書提出
両手が使えず 一切のマークが 困難な者	拡大マークシート 代筆者(*2)	5級～準2級	一般と同じ	別室 (代筆者必要)	必要	障がい者手帳の コピー	申請書受理後受付 期間内
利き手でのマークが 不自由な者	拡大マークシート	5級～準2級	一般と同じ	別室 (付添い者必要)	必要	障がい者手帳の コピー	申請書受理後受付 期間内
上記以外の 車イス使用者	一般と同じ	全級	一般と同じ	一般と同じ (付添い者必要)	不要(*3)	マイページ登録・願 書に明記	受付期間内
その他の肢体不自由者	一般と同じ	全級	一般と同じ	一般と同じ	不要	マイページ登録・願 書に明記	受付期間内

(*2)事前に受験者の方が代筆者で解答の指示方法を決めていただきます。受験者が複数の場合、筆談を利用するなど、声をだして指示できない場合もございます。ご了承ください。

(*3)下肢障がいの方で、お車での来場を希望される方は、申請書の指定欄にお車情報を記入しご提出ください。

●車イス使用の方は原則付添い者を付けてください。その他、介助が必要な方も付添い者を付けてください。

※いかなる場合も、試験場内での事故責任は負いかねます。

●別室での受験方法

聞きとり試験、筆記試験：B4サイズに拡大コピーしたマークシート解答用紙を使用します（試験終了後、正規の解答用紙に写します）。

聞きとり、筆記合わせてマークシートは1枚となります。

3. 上記以外で、一時的なケガや疾患、身体状態による不自由や障がいなど（筆記・聞きとり試験）

受検時の状態を、協会にお電話していただくか、配慮申請フォームにて受験申込前にご相談願います。

～教育的医学的に資格のある心理学者や、適切な資格をもつ診断可能な専門家が書面で診断、報告していることが前提です。

～杖や歩行器、ルーペ、補聴器などご本人が持ち込むことで受験可能になる機器の利用は事前にお知らせください。

～妊娠中で配慮が必要な場合：受験当日の週数が20週以降で可動式のイスに座りたいなどご希望がある場合、座席の考慮。

※会場の電源は使用できません。持ち込む機器は事前に充電するなど、試験時不具合が生じないよう事前にご準備願います。

※持ち込み物の破損・紛失に関する責任は当協会では負えないものとします。持ち込まれた方が管理をお願いいたします。

4. その他、下記に該当する【指定席希望】の受験申込について

【以下の5項目<難聴・左耳難聴・右耳難聴・車イス・妊婦>で、指定席を希望される方】

~別室を設ける必要がなく、通常の一般受験教室で座席の位置の考慮のみ希望される場合の【指定席希望】は、オンライン申込のユーザー登録内、『特記事項』より<難聴・左耳難聴・右耳難聴・車イス・妊婦>を選択いただくことで、お席の考慮対象となります。この場合、お申し込み前の「配慮措置申請書」や「配慮措置申請フォーム」からの申し出は必要ありません。

※配慮の範囲は受験教室内のみとなります。お付き添いの方は集合時間前に廊下までのお付き添いをお願いいたします。

※受験者の方の身体や持ち物、持ち込まれた物や医療機器を監督者が触る必要がある介助などは致しません。

※試験当日、会場内での感染防止のため、体調が優れない方は当日会場へ出向かないようご協力をお願いいたします。

また、以下の場合、会場にいられても入室をお断りしたり、試験中に退場をお願いする場合がございます。

① 試験当日に体調がすぐれない方、体調に不安があり試験の続行が②の理由などで不可能と推測された方

② 37.5度以上の発熱や次の症状がある方~同教室内の試験進行を妨げる程度の咳や全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁がある方

※特定感染症などの罹患により受験を取りやめた場合、検定日以降8日以内に公的証明書や指定の書類を提出することで、

検定料の一部が戻る場合があります。協会へお早めにご相談ください。

特定非営利活動法人

ハングル能力検定協会